

令和7年度 横浜市幼保小連携推進地区事業
活動報告

【推進テーマ】
「子どもたちが自発的に関わり、安心して入学を迎える
ことのできる幼保小の交流と連携」



豊田地区
飯島幼稚園
豊田小学校

推進テーマ設定の理由

「子どもたちが自発的に関わり、安心して入学を迎えることのできる幼保小の交流と連携」

- ・今年度より3年間の幼保小連携推進地区の指定を受け、連携事業をスタートした。
- ・距離も近く、小学校に入学してくる児童も多い飯島幼稚園との交流の機会を増やすことで、幼稚園と小学校をつなぎ、安心して入学を迎えられる環境を作りたい。
- ・園での様子、学校での様子をそれぞれの職員が実際に見て、感じることで、子どもたちや保護者に寄り添った交流や連携を目指したい。
- ・年長児と1年生や年長児と5年生（次年度1-6年生のペア学年となる）の交流を進めることで、子どもたちから自発的に「幼稚園の子と〇〇したい！」「小学校のお兄さんお姉さんと△△したい！」という思いが出てくるような関係を作りたい。



今年度の重点課題

・まずは職員間で幼児・児童の実態把握

→入学してくる人数は多いものの積極的な交流が少なかった実態を踏まえ、職員同士の情報共有や、小学校・幼稚園の参観を通して子どもの実態をつかむ

・関係の深い学年間での関係づくり

→昨年度までの関係があり、顔見知りの多い1年生や、たてわり活動のペア学年となる5年生を中心に、次年度につながる関係づくりを進める

・子どもが自分から「関わりたい！」と言い出す活動の工夫

→様々な活動の中で、相手意識が子どもの方から出てくるように単元計画を工夫する

推進内容・実施計画

事業名	日時	内容
第1回推進委員会	5月8日(木)	・ 幼・小担当職員の顔合わせ ・ 年間計画について
小学校授業参観	5月中旬	・ 園の職員が小学校の授業参観 ・ 参観後、子どもの様子について懇談
交流会①	6月13日(金)	・ 幼稚園の園児と1年生が地域の公園で遊ぶ
交流会②	6月27日(金)	・ 幼稚園の園児が小学校で1年生と遊ぶ
幼保小連携研修会	7月	・ こども青少年局の研修に参加
保育参観	8月19日(火)	・ 小学校の担当職員が幼稚園の保育参観
第2回推進委員会	8月28日(木)	・ 推進委員会で9月以降の交流計画を作成
幼稚園運動会	10月4日(土)	・ 学校職員が園の運動会に参加
小学校運動会	10月18日(土)	・ 園職員が小学校の運動会に参加
交流会③	11月6日(木)	・ 1年生が幼稚園を訪問し、園児と一緒に秋探しをする。
交流会④	12月1日(月)	・ 小学校の生活科授業「秋まつり」に園の職員、園児が参加
交流会⑤	1月15日(木)	・ 園児が学校を訪問し、1年生とむかしあそびで交流 ・ 次年度ペア学年となる5年生との出会い、レクリエーションでの交流。 5年生の配膳による園児の給食体験
区教育交流事業報告会	2月16日(月)	・ 区教育交流事業報告会で報告
交流会⑥	2月17日(火)	・ 園児が5年生・1年生と交流 小学校の生活体験
第3回推進委員会	2月末	・ 年間振り返り ・ 次年度計画

連携推進事業の実際 5月

①幼稚園の職員による授業参観

- ・入学直後の緊張がほぐれる子どもたち
- ・幼稚園での姿との違い
- ・子どもたちのブームや、好きな遊び、
夢中になっているものを共有

→心配が安心へ



連携推進事業の実際

6～7月

②出合い

～公園での遊びで交流→小学校へ招待～

- ・ 1年生の遠足で行った金井公園で年長児と出会う
- ・ 年長児、1年生が**一緒に体を動かして遊び、仲良くなる**
- ・ 次に学校で遊ぶ約束をして、園児が小学校へ
→ **自分たちの思いで交流活動が始まる。** いろいろな
場面で、**「かかわりたい！」**という声が子どもたちから出るように



連携推進事業の実際 9～10月

③小学校職員による保育参観・運動会での交流

- ・ 入学前の園児の姿を知る
- ・ 園の1番年上として運動会の仕事を**頑張る園児たち！**
- ・ 小学校の運動会。**卒園生たちの成長した姿！**
- ・ 行事に取り組む**職員の姿を共有**



連携推進事業の実際 11～12月

④あきまつり～園・小学校相互の交流～

- ・ 自然豊かな飯島幼稚園に木の実や落ち葉を探しに
- ・ **年長児が1年生を案内**しながら一緒に秋探しを楽しむ



☆たくさん集めた木の実や落ち葉で、「あきのおみせやさん」をひらいたよ。**ゲームを楽しんでもらおうと、年長児を招待！**

連携推進事業の実際 12～1月

⑤むかしあそび



- ・ 年長児がクリスマスにもらった大山ごまで、**1年生と遊ぶために来校！**



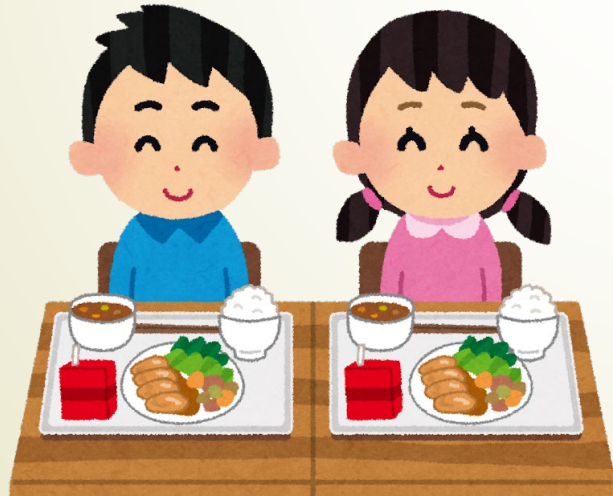
- ・ 一緒に練習する子、年長児に教えてあげる子...**自分たちで場を選んで関わる**
- ・ 上手に回して、1年生の上手な子たちと勝負する年長児も！

連携推進事業の実際 1月

⑥給食交流 ～5年生と年長児の出会い～



- ・ 来年最上級生となり、**年長児と1・6年でペアになる5年生が年長児と遊ぶ**
→最上級生として、たてわり活動のリハーサルに
- ・ 5年生が準備をして、年長児と一緒に給食を食べる
→**不安の多い給食を、就学前に体験**



小学校に顔見知りが増えていく

連携推進事業の実際 2月

⑦小学校入学に向けて ～学校体験～

- ・給食交流を通して仲良くなった**5年生が、小学校の中を案内する**

→年長児に小学校のイメージをもってもらう

- ・**1年生の教室では一緒に学習を試みる**

→音楽で一緒に歌を歌う、生活科や体育でレク、ランドセル体験など...

入学を楽しみにしてもらえるように

成果と課題

○成果

- ・ 幼稚園と小学校が進んで関わる関係性を築くことができた
- ・ 相手を意識して関わる姿がたくさん見られた
- ・ 新1・2年生や新1・6年生の関わりが増え、学校に何度も訪れることで小学校に慣れ、入学が楽しみに

△課題

- ・ 中心となって関わる学年ができた一方で、他学年の児童や職員の当事者意識が少ない
- まずは職員交流の機会を増やしていきたい
- ・ 持続可能性・高学年の時数確保
- 総合の時間の活用や、プログラムの精選による準備時間の短縮